

～ 寒波による影響で農産物に被害が生じた鹿児島県の農家・産地を支援 ～
天候被害を受けた鹿児島県産のスナップエンドウを販売
コープみらい 16 店舗で 2 月 14 日（日）まで取り扱います

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井 ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、1月下旬の寒波による降霜や降雪の影響で農作物に多大な被害が生じた鹿児島県の農家・産地を支援するため、2月14日（日）まで、天候被害を受けたスナップエンドウをコープみらいの16店舗（千葉・埼玉・東京エリア）で販売いたします。

鹿児島県内の農作物の寒波被害は広域に及び、またソラマメやスナップエンドウなど多くの野菜をはじめとする農産物に被害が生じています。今回、店舗にて販売するスナップエンドウは、寒波による降雪被害でサヤの表面が一部変色しておりますが、食味は通常の商品と変わりません。

コープみらいでは、天候被害、規格外、不揃い農産品を無駄にしないよう、また丹精込めて栽培した生産者の努力を無にしないよう、形や大きさが出荷基準に合わない野菜や果物や、キズや割れが生じた果物を有効利用するため、「天候被害果」「ハネッコ」といった商品として組合員に理解して購入してもらう取り組みを進めています。



スナップエンドウ(天候被害)売り場

—商品概要—

商 品 名：スナップエンドウ（天候被害）

産 地：鹿児島県産

総販売数量：約 3,000 パック

販売価格：1 パック 195 円（本体価格）

販売期間：2月8日（月）～14日（日）

販売エリア：千葉・埼玉・東京エリアの一部店舗（計 16 店舗）

＜千葉＞コープ鎌ヶ谷店、コープ薬円台店、コープ新松戸店

＜埼玉＞コープ南浦和店、コープ浦和東店、コープ武蔵浦和店、コープ幸町店、
コープ春日部店

＜東京＞コープ上北台店、コープ国分寺店、コープ北野台店、コープ高倉店、
コープ小川西町店、コープ青梅新町店、コープ上井草店、コープひばりが丘店

《生活協同組合コープみらい 概要》

ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同(合併)し、「コープみらい」になりました

【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5

【理 事 長】新井 ちとせ (あらい ちとせ)

【組 合 員 数】327 万人 (2016 年 1 月 20 日現在)

【総 事 業 高】3,702 億円 (2014 年度)

【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都

【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>